

第25回研究発表大会  
大会テーマ：地域文化の核となる博物館～地域振興の視点から

口頭発表詳細

日 時：平成30年2月15日（木） 14:10～17:00

【会場A】（福岡市科学館 サイエンスホール）

- |             |       |  |
|-------------|-------|--|
| 14:10～      | 研究発表① | 広島における科学資源を用いた活動<br>～青少年のための科学の祭典を23年間実施して～<br>〔広島市こども文化科学館 村上 聡〕                        |
| 14:25～      | 研究発表② | 初めて来館される方のためのフェスティバルにおける<br>空間構成について<br>〔千葉市科学館 坂田 真理〕                                   |
| 14:40～      | 研究発表③ | 商店街イベントへの参画による「つながる地域博物館」<br>の試み<br>〔横須賀市自然・人文博物館 内船 俊樹〕                                 |
| 14:55～      | 研究発表④ | 地域に密着した科学館の取り組み<br>〔はまぎん こども宇宙科学館 山本 桃子〕   |
| 15:10～      | 研究発表⑤ | 「えほん meets 博物館」の実践による博物館利用の促進<br>～地域文化の核としての博物館が機能するには？～<br>〔国立科学博物館 小川 達也〕              |
| 15:25～15:35 |       | 《 休 憩 》  |
| 15:35～      | 研究発表⑥ | 観光地の博物館における地域の価値を再発見するための<br>取り組み<br>〔面河山岳博物館 矢野 真志〕                                     |
| 15:50～      | 研究発表⑦ | 科学の視点で地域の魅力発信<br>～ただの住宅地から愛着のある地元へ～<br>〔多摩六都科学館 原 朋子〕                                    |
| 16:05～      | 研究発表⑧ | 自然史博物館による観光情報発信<br>～「岸ぶら」観光ブログの効果と課題～<br>〔きしわだ自然資料館 風間 美穂〕                               |
| 16:20～      | 研究発表⑨ | 学芸員の資質向上とネットワークの構築を通じた博物館<br>の機能強化モデルの提言<br>～沖縄県内博物館の連携から見えてきたもの～<br>〔沖縄県立博物館・美術館 山崎 仁也〕 |

【会場B】（福岡市科学館 4階 実験室3）

- 14:10～ 研究発表① 「メヘレン宣言」と「東京プロトコル」をどう活かすか  
〔千葉県立中央博物館 林 浩二〕
- 14:25～ 研究発表② 茨城県自然博物館における恐竜展示のリニューアル  
～中生代の森林ジオラマの更新とその効果～  
〔ミュージアムパーク茨城県自然博物館 加藤 太一〕
- 14:40～ 研究発表③ 災害展示の現状と課題  
～人と防災未来センター資料室の事例から～  
〔阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 杉本 弘幸〕
- 14:55～ 研究発表④ 姫路科学館での自然史資料、特に小林平一コレクション  
の活用について  
〔姫路科学館 徳重 哲哉〕
- 15:10～ 研究発表⑤ 標本に「さわる」体験をとおして生命の歴史を学ぶ  
～国立科学博物館における学習プログラムの開発・実践  
の事例から～  
〔国立科学博物館 島 絵里子〕
- 15:25～15:35 《 休 憩 》
- 15:35～ 研究発表⑥ 「海洋教育」を体現する際のフィールド・ミュージアム  
の使命  
～特に我が国の将来を直近で担う中高生を中心とした  
学びの場構築～  
〔千葉県立中央博物館分館 海の博物館 新 和宏、奥野 淳兒〕
- 15:50～ 研究発表⑦ 実物標本と実験を軸とした、地球の現象を体感する新しい  
展示の実践  
〔神奈川県立生命の星・地球博物館  
石浜 佐栄子、大島 光春、田口 公則、山下 浩之〕
- 16:05～ 研究発表⑧ 地域教育機関（中学校、高等学校、大学、専門学校等）  
との連携  
〔日立シビックセンター科学館 高柿 勝博〕
- 16:20～ 研究発表⑨ 企業、学校と市民をつなぐ科学フェスタの可能性  
〔千葉市科学館 森井 映美子〕

## ポスターセッション 詳細

コアタイム時間：平成 30 年 2 月 16 日（金） 11:15～12:00

【会場】（福岡市科学館 4階 実験室 2）

- 海の博物館が実践するフィールド・ミュージアム  
「エビ・カニをもっと知ろう！」（日本財団「海と日本 PROJECT2017」）を中心として  
〔千葉県立中央博物館分館 海の博物館 新 和宏、吉田 真照〕
- 実物資料に内包された知覚効果を引き出す展示手法の開発  
～昆虫の多様性の知覚化に向けて  
〔北九州市立自然史・歴史博物館 蓑島 悠介、下村 通誉、真鍋 徹、上田 恭一郎〕
- 理科専門でない小学校の教員を対象にした目に見えない事象に関する観察実験の  
研修事例  
〔出雲科学館 中山 慎也〕
- 明石市立天文科学館における地域連携事業  
〔明石市立天文科学館 鈴木 康史〕
- 地域企業との連携した地域学習プログラムの紹介  
～多摩北部広域子ども体験塾「たまろくトレイン探検隊」を事例に～  
〔多摩六都科学館 高尾 戸美〕
- 茨城県自然博物館における博学連携への取り組み  
～学校の様々なニーズに対応した教育普及活動を通して～  
〔ミュージアムパーク茨城県自然博物館 稲葉 伸一郎〕